

芸人の色紙 被災者に贈る

長田さん（西崎中）吉本の協力で

【糸満】東日本大震災の被災地支援を続けている糸満市立西崎中学校2年の長田唯亜さん（14）は5月、吉本興業から提供を受けた芸人のサイン入り色紙100枚を、宮城県と福島県の中、高校に文房具とともに贈った。学校からは感謝の声が届いている。長田さんは7月14日、来県していた吉本興業の大崎洋社長らを市内に招き、色紙提供の感謝の宴を開催した。

社長招き感謝の宴も

糸満



西崎中2年の長田唯亜さん（右）が続ける東日本大震災の被災地支援活動に協力した吉本興業の大崎洋社長（左）と、糸満市



西崎中2年の長田唯亜さん（右）が続ける東日本大震災の被災地支援活動に協力した吉本興業の大崎洋社長（左）と、糸満市

震災発生時から募金を募り、被災地に文房具などを贈る活動を続けてきた長田さん。吉本興業に色紙の提供を手紙で依頼し、3月に県内で開催した第4回沖縄国際映画祭で来県した大崎社長から色紙を受け取った。今回の宴は、同社長への感謝の気持ちを込めて企画。母有香子さんと開催に向け準備を進めた。

映画祭で演舞を披露した糸満市内のエイサー団体や、ボランティアスタッフとして働いた市内の高校生などが宴に参加し、ことし創立100周年を迎える同社関係者を温かくもてなした。大崎社長は「映画祭でお世話になった糸満の子らも含めて、こんなに大層な宴を開いてくれてびっくりしている。心遣いがあるがたい」とあいさつし、宴への招待に感謝した。

長田さんは「自分が続けていた被災地支援がこのような形で大きく発展して、うれしい。糸満と吉本興業のつながりももっと深まってほしい」と話した。宴には同市役所関係者も招待。名刺交換会で上原裕常市長などに対面した大崎社長は、映画祭を県内全域に拡大したいとの意向を伝えた。

（梅田正寛）

（2012年7月20日 30面）

☆この記事から、長田さんの役割とはどういうものなのか、読み取ってみよう。

☆被災地支援の状況は今どうなっているのか、調べてみよう。

年 組 名前